

## 設定変更手順

VirtuAttendant (PA10V) が Prism Central を認識しない場合の対応手順となります。

VirtuAttendant 取扱説明書 Nutanix AHV 編「2-2 管理対象外ノード設定」を参考に、「CVM」の削除と「-CVM」の追加を行ってください。詳細な手順は以下をご確認ください。

1. VirtuAttendant のコンソールにログインする  
※ログイン ID、パスワードにつきましては同梱されている pdf をご確認ください。
2. 以下のコマンドを実行し、自動除外設定シェルを起動する  

```
sudo sh /usr/local/virtuattendant/script/system/editNotManagedNodeInfo.sh
```
3. メニューが表示されるので、2 を入力して Enter キーを押す
4. 『-CVM』を入力して Enter キーを押す
5. 『-CVM』が登録されたことを確認したら何も入力せずに Enter キーを押す
6. メニューが表示されるので、3 を入力して Enter キーを押す
7. 『CVM』が設定されている番号（デフォルトでは 1）を入力して Enter キーを押す
8. 『CVM』が削除されたことを確認したら何も入力せずに Enter キーを押す
9. メニューが表示されるので、9 を入力して Enter キーを押す
10. 自動除外設定シェルが終了するので VirtuAttendant からログアウトする
11. 「2.4 設定ウィザード」を実施する